

寒冷期に集中した牛ボツリヌス症発生報告：岡山県津

山家保 笹尾浩史

令和6年度に管内で牛ボツリヌス症が3例発生。全てD型毒素遺伝子検出。1例目は、肉用牛繁殖肥育一貫農場（繁殖和牛約30頭、肥育牛約40頭）で肥育末期牛6頭が死亡。感染源は不明。同症のワクチンは年1回接種。2例目は、乳肉複合農場（搾乳牛約60頭、繁殖和牛約30頭）で13頭が死亡。原因は自家産サイレージ汚染と推察。ワクチンは未接種。3例目は、肉用牛繁殖農場（繁殖和牛約70頭）で5頭が発症し、3頭死亡。原因は自家産サイレージ汚染と推察。ワクチンは未接種。これらの症例から、①生乳出荷自粛期間の設定②同時期に給与中のサイレージ購入元への風評被害③発症リスクのある牛のと場出荷④ワクチン接種済農場での発生等の問題が生じ、対応に苦慮。本症の対応は、毒素除去（汚染飼料給与中止、敷料・糞便除去、飼槽・水槽の清掃）、緊急ワクチンによる沈静化、カラス等野生獣対策、農場に合ったワクチン計画策定及び近隣農場への啓発活動等を軸に行う。